渡島地方本部ニュース

【発　行】
自治労渡島地方本部
執行委員長　川村　哲也
〒041-0806
函館市美原4-6-16
TEL 0138-34-2357
FAX 0138-34-2358

函館市職労ベスト４進出ならず
知内町職・函館市消防協は強豪チームに敗れる

第49回全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会が９月11日から３日間、釧路市市民球場をメイン球場とし行われた。

渡島地本からは前々年度優勝チームの知内町職が推薦枠で、函館市職労と函館市消防協が予選を勝ち抜き出場した。全道各地から集まった28チームが来年度大阪府で行われる全国大会をめざし熱いたたかいが繰り広げられた。

【知内町職・函館市消防ともに初戦突破】

大会初日　まず登場したのは知内町職。釧根地区の強豪チーム別海町職との対戦となった。

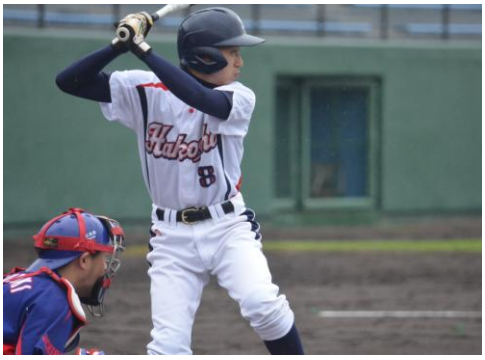
初回、知内町職は先頭東出が二塁打で出塁すると捕逸で三塁へ進み、森選手の内野ゴロの間に先制する。知内は４回にも成田選手の内野ゴロで１点を奪いリードを広げる。投げてはエース阿部投手が１５奪三振の快投で別海町職を完封した。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
別海町職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知内町職	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

函館市消防協は全道の常連南幌町職との対戦。序盤コントロールの定まらない相手投手を攻め、小野選手のタイムリーヒットなどで得点を重ねリードを奪う。

３回以降は立ち直りを見せた相手投手からチャンスは作るが追加点を奪いことができない。

しかし、函館市消防協は清水投手が粘りのピッチングで南幌町職打線に的を絞らせず、安打完投で接戦を制した。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
函館市消防協	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
南幌町職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・大会二日目
【函館市職労ベスト８進出
知内・函館消防やぶれる】

知内町職２回戦の相手は網走対決を制して勝ち上がってきた北見市消防協。試合は投手戦となり、知内町職阿部投手は５回まで一人のランナーを出さないパーフェクトピッチング。一方北見市消防の投手はランナーを出すが要所を締めるピッチング。

試合が動いたのは６回北見消防協は、６回先頭打者が死球で出塁すると、すかさず送りバントで一死二塁のチャンスを作る。ここで青山選手の右安でランナーが還り、これが決勝点となった。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
北見市消防協	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
知内町職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

函館市消防の２回戦は優勝候補筆頭の石狩市役所。

函館市消防は初回村田投手のたちあがりを攻められ１点を奪われる。その後２回、３回と抑え、立ち直りをみせたが、４回に相手チームの３塁打などで２点を追加される。

なんとか要所を押さえてきたが、６回裏、石狩市職労に疲れの見えた村田投手が攻められ、打者８人の攻撃で４点を奪われ７回コールドゲームで敗れた。

	1	2	3	4	5	6	7	合計
函館市消防協	0	0	0	0	0	0	0	0
石狩市職労	1	0	0	2	0	4	×	7

函館市職労は３回、相手のエラーから２点を先制すると、５回には先頭打者の本多選手が安打で出塁し、打者１０人の猛攻で５点を追加した。７対２とリードする。

おいすがる江差町職労も４回から８回まで毎回１点ずつ返され９回には２点を奪われ同点とされる。

しかし函館市職労はその裏二死一・二塁とし、９番小野選手がこの試合２本目となる二塁打でサヨナラ勝ちをおさめ、ベスト８進出を決めた。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
江差町職	0	0	0	1	1	1	1	1	2	7
函館市職労	0	0	2	0	5	0	0	0	1	8

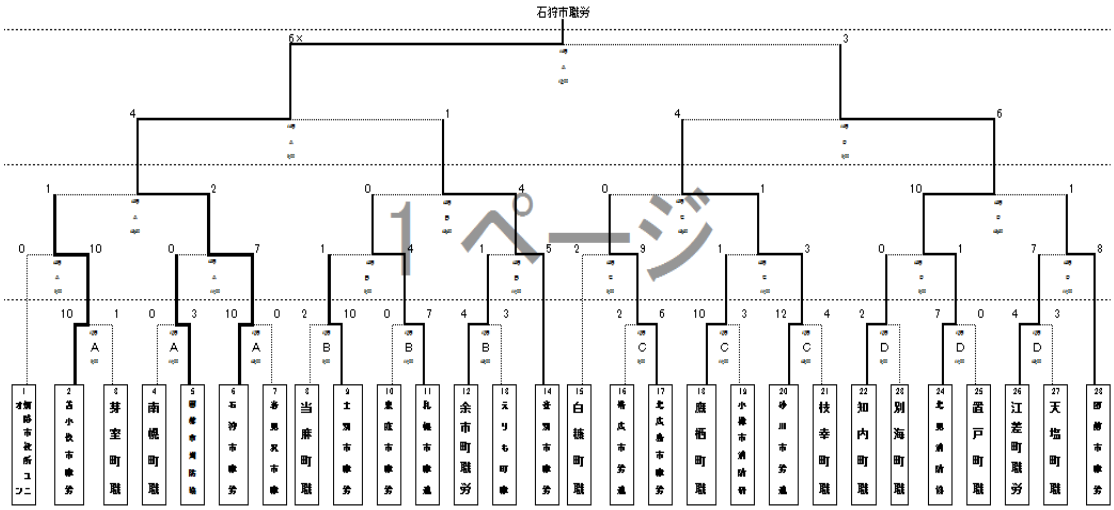
30分の休憩後の試合となった準々決勝は函館市職労対北見市消防協。

初回、函館市職労は守りにミスが生じ１点を先制される。続く２回にも２点本塁打、満塁から走者一掃の三塁打などで、一挙６点を奪われる。

函館市職労も４回に半田選手の二塁打で１点を返すなど維持を見せるが、６回三連打などで３点を追加され、７回コールドゲームで敗れた。

	1	2	3	4	5	6	7	合計
函館市職労	0	0	0	1	0	0	0	0
北見市消防協	1	6	0	0	0	3	×	7

なお大会は知内町職、函館市職労を破った北見市消防協と、函館市消防に勝った石狩市職労の対戦となった。試合は石狩が点を奪うと北見消が追いつくという展開だったが、最後は石狩市職労が逃げ切った。

大会に参加されたチームの皆さん遠距離の移動含めお疲れさまでした。

来年は旭川で開催されます。各単組の皆さん出場めざして頑張りましょう。